

8-3-1 企画委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

委員会開催回数:11 回 (8 月を除く毎月)

(2) 委員会の構成

当委員会は、次に示す 2 つの専門委員会と 3 つの WG で構成されている。詳細な活動内容については専門委員会・WG の年報を参照されたい。

- ・登録・法制度専門委員会
- ・契約のあり方専門委員会
- ・建設コンサルタントの新たな役割検討 WG
- ・報酬のあり方検討 WG
- ・持続可能な社会構築検討 WG

(3) 委員会の活動

a) 企画委員会

各専門委員会・WG の提案について審議・検討し、企画部会又は常任委員会に上申及び報告した。

b) 登録・法制度専門委員会

令和 5 年に実施した自治体(47 都道府県及び 20 政令指定都市) 向けアンケートを踏まえ、自治体における登録制度活用状況に関する報告書を作成し、協会ホームページに掲載した。また、登録制度の活用促進を図るための自治体配付用パンフレットの原稿を作成した。法制化に関しては、必要性や他業種における事例などについて整理し、検討を行った。

c) 契約のあり方専門委員会

土木設計業務の契約などに関する課題(著作権、損害賠償責任のあり方、準委任契約の扱い)について、国土交通省建設振興課及び技術調査課との勉強会を 1 回実施し、各課題の明確化、解決の方向性について両者で共通認識を得た。また、契約のあり方講習会「土木設計と法的問題」を 2 回(10/10、12/1) 開催し、計 800 人以上の参加を得た。

d) 建設コンサルタントの新たな役割検討 WG

異業種連携、事業主体への技術支援、地方公

共サービスへの支援、地域・広域コンサルタント間の技術連携等を進めるためのツールとして、技術連携(研究・人材育成・技術的相談)相談窓口について検討を行った。また、インフラを取り巻く環境の将来像を踏まえ、とりまとめた「建設コンサルタントの新たな役割提言(案)」について、その検討成果の一部を、建設コンサルタント白書「建設コンサルタントの役割とその多様化」へ掲載した。

e) 報酬のあり方検討 WG

技術提案・交渉方式の導入提案を目的として、上限が設定されているプロポーザル制度の課題に関して検討を行った。また、近年導入が増えてきた ECI 方式における設計者の観点での課題について整理するために企画委員会所属企業を対象としたアンケート調査を行い、今後検討を行う予定である。令和 8 年度から国交省で試行されたスライド条項に関して制度の内容を整理すると共に、出来高確認の実施方法について検討した。

f) 持続可能な社会構築検討 WG

令和 6 年度に実施した女性活躍のロールモデルインタビュー記事をとりまとめ、協会 HP に掲載した。また、令和 6 年度に実施した女性活躍のアンケートについては、「建設コンサルタントにおける女性活躍の提案報告書」を作成した。この提案報告書では、建設コンサルタント業界における女性活躍推進の現状と課題を深く掘り下げるとともに、採用環境改善、制度・運用充実、職場文化改革、外部制度活用を提言し、経営戦略と連動した実行により、業界の競争力強化と持続的成長、豊かな業界実現を目指すものとしてとりまとめた。

2. 次年度の活動について

次年度以降は、新中期行動計画 2026～2029 に基づき、現在実施中の活動を継続する。

(企画委員会委員長 野見山 尚志)